



安全・安心・ふれあい 連携

発行者：朝日連区地域づくり協議会・広報委員会

【役員会より】

12月8日(水)に南部公民館で、朝日連区地域づくり協議会役員会を行いました。朝日パトロール隊の活動、民生児童委員会の代表者が12月に後藤勲さんから藤井保さんへ交替したことなどが報告されました。協議事項として、予備費について具体的な活用計画が提案され、大枠が決まり、役員会の代表者によってさらに内容を検討していくことになりました。また、連区や公民館の行事、各部会からの活動などについて話し合いを行いました。

【各部会より】今年度もコロナウイルス感染拡大の影響を受けて、各部会の検証する事業の多くが中止に追い込まれました。しかし、やれることはやろうという考えで、主に次のような行事や活動について検討しました。



○ 福祉部会

昨年同様、残念ながら敬老会は中止になり、記念品が75歳以上の方に届けられました。

○ 生活安全部会

防犯交通安全決起大会と防災訓練が人数を制限したり、内容を工夫したりして実施されました。参加者からは、参加してよかったという高評価の意見が聞かれました。

○ 健康づくり部会

2回の教養講座、アルミ缶アート、趣味クラブによる活動が実施されました。公民館事業では、ビーチボールのつどい、グラウンドゴルフ大会が行われました。

【連区あれこれ】：こんなことがありました

○ 11/29(月) 第3回「教養講座」尾西グリーンプラザ

一宮建設事務所、工事を請け負っている会社等の方々による新濃尾大橋(仮称)の建設状況について説明がありました。濃尾大橋建設当時の話、今までの工事内容や現在の工事の様子、環境について、様々な視点から話をされました。参加者は、身近な話でしたので、興味深く熱心に説明を聞いていました。



○ 12/4(土) アルミ缶アート 朝日西小学校

本年度は、朝日西小学校の家庭科室と理科室の2部屋を使用して行いました。コロナウイルス感染拡大が心配でしたが、12月は落ち着き、43名の小学生が参加をしました。「CAN 缶アート G」の方から作り方を教えてもらいながら、子どもたちはアルミ板に下絵をかき、色塗りをし、鉄筆で凹凸をつけて、作品を作り上げていました。どの子も満足した笑顔を見せていました。



下書き



色塗り



アドバイスを受けて



アルミ板をトントントン

○ 12/14 (火) 朝日支会福祉講演会 尾西グリーンプラザ

医療法人泰玄会病院の職員の方から、前半は「骨と関節のおはなし」の講義を、後半は「ロコモと予防体操」の演題で体操を中心に、講演会が開かれました。前半の講義では、骨粗しょう症の病状や予防について、関節によくある症状について、わかりやすく話をいただきました。体操では、太ももやふくらはぎのストレッチやロコモトレーニングを実際に行いました。どこでも、簡単にできる体操で、適度な運動を心がけることの大切さを改めて知ることができました。



ロコモトレーニング

○ 12/31 (金) かがり火 洲原神社 (下祐久)

下祐久の洲原神社では、毎年大晦日にかがり火を午後11時30分から始めます。午前0時になると、自治会長の音頭により参拝者全員で、お参りをします。今年は、雪が積もって寒さが厳しかったこともあり、除夜の鐘を聞きながらの初詣は、いつも以上に身も心も引き締まったようでした。参拝の後、御神酒、するめやお菓子をいた



正全寺



暖をとりながら

だき、火の周りに集まって、来る年への新たな気持ちを語り合いました。

○ 1/15 (土) 朝西っ子発表会・なわとび大会 朝日西小学校

オミクロン株の急激な感染拡大が心配される中、保護者限定で開催されました。今年の発表会は作品展で、低学年、中学年、高学年の3つに分かれて各部屋で作品が展示されました。どの学年も、学年に応じ工夫された見応えのある共同作品や個人作品が展示されていました。なわとび大会の八の字跳びでは、



自分の名前をデザイン



新記録達成!

新記録を出した学年もあり、大いに盛り上がりました。コロナ禍の中、閉塞感が漂っていて暗い気持ちになりがちですが、子どもたちの

パワーに大人も感動と力をもらったように感じます。

【トピック】：冬の風物詩

12月から2月頃まで、この地区では、切り干し大根を作ります。伊吹おろしの冷たい風が吹く今の時期は、細かく切った大根がよく乾くので、昔から盛んに行われています。切り干し大根は栄養価が高く、長期保存が利くので、重宝がられています。



《ルネサンス朝日》 36 (史跡めぐりマップ)



朝日地区の再発見を

西中野渡船場—その3

愛知県営西中野渡船場を東に行くと、朝日連区の史跡の一つに出合います。

朝日村の史跡に、**間宮英宗の碑**というものがあります。読み方は、「まみやえいじゅうのひ」で、禅宗を学び広めた人物の顕彰碑です。

間宮英宗は、西中野で生まれ出家して天龍寺・青龍寺・臨川寺を経て、静岡県臨濟宗方広寺派第2代管長に就任した人です。

彼は臨濟宗を極めたのち、日本全国は言うに及ばず、国内にとどまらず、台湾・朝鮮・中国東北・南洋で布教活動をしました。

彼を讃えるこの碑は、西中野 県道513号線沿い 極楽寺反対(道路南)側にあります。

